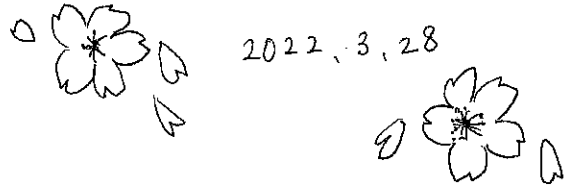


しいの実・たんぽぽ・みずぐみ クラスだより

2022.3.28



まだまだ気温差もありますが、暖かく過ごしやすい日も増えてきましたね。桜もつぼみが大きくなり、散歩先でも色々な花が咲いているのを見つけて手を伸ばす子どもたちです。コロナの影響で制限も多い1年でしたが子どもたちは笑顔いっぱい、はいて過ごし、大きくなりました。1年間、色々ご協力いただき、本当にありがとうございました。

しいのみぐみ

気がつけばもう3月...

4月に入園し、4人からスタートしたしいのみぐみも1人、また1人とお友だちが増え、10人に!! とってもにぎやかになりました😊
この1年で本当に大きくな、たしいのみぐみさん。今日は小麦米粉をこねたり、足の裏にえのじを塗って足型をとってみたり、はじめてのことや、てみました。感触あそびが大好きなしいのみぐみさんなので、小麦粉の粉 → 水を入れてドロドロ&ねっとり → もちもちの感触を楽しんだり、足裏にえのじを塗られる、くすぐりたい & 気持ち良いに「笑顔いっぱいでした♡」

。。大きくな、た。。

0歳児の1年は本当に成長スピードが速く、一系者において毎日がおもしろく楽しい1年でした。
入園した頃は朝の保護者とお別れで涙...泣いた子どもたちも今では「はい、さーい!!」と笑顔で手を打ってバイバイできるようにになりました。お散歩も景色を楽しみ、外の空気を感ずるお散歩から自ら歩いたりハイハイしたり、動いて探索を楽しみお友だちと一系者が「大好き!! 楽しい!!」と感ずるお散歩にた、てきました。
本当にお友だちが「大好きなしいのみぐみさん。お友だちが遊んでいれるものを「おもしろそう!!」「なんだろう?」とそばへ寄り寄り行き、同じことをやりたい!!」と一系者にあそぶ姿が増えてきました。「同じことをしたい!!」「それか!!(面白い!!)」と取り合いにた、たりトラブルも増えていますが、自分の思いがしっかり出せるからこその姿。保育者がお互いの気持ちを代弁して伝えることで、「さーい!!」「さーい!!」と言おうとしたリジエスチャーしたり、「さーい!!」と泣いてあげたり同じおもちゃを持ってきてうれしそうに遊ぶようにな、てきました。まだまだ一人遊びも多いい時期ですが、ふいとお友だちを意欲する姿が見られるようにな、てきたことが嬉しいです。
「はい、たんぽぽ(みぐみ)へ進級します!(もう1年しいのみぐみのお友だちもいますね♡) 楽しいお友だちも増え、ますますにぎやかに楽しくハッピーしような子どもたちです。楽しみですね😊」
この1年間、子どもたちのかわいい姿、おもしろい姿など色々な姿を一系者に見守り成長を感じてこれたことを本当に嬉しく思います。これから「大丈夫!!」「おもしろい!!」という子どもたちの姿を見守り、お話できたら嬉しいです。

1年間、ありがとうございました☆

たんぽぽぐみ

おおきくなりました

2021年度のたんぽぽぐみは、8名で始まり、最終11名の子どもが生活を共にしてきました。慣れない環境に涙していた子どもたちが、いまでは笑顔で登園できるようになりました。この一年は、身体をたくさん動かすことが大切にしてきました。もともと、戸外で過ごすことは子どもたちは好きです。入園、進級した頃、泣いていても「お散歩行こう」と声をかけたり、外に出ると自然と泣きやんでいました。散歩に出かけると、できるだけ歩けるように、身体を動かせるようにと、順番に保育者と手をつないで歩いたり、足踏地での探索を楽しめるようにしました。

遠いところでは北野夫満宮や北野白梅町まで行きました。北野白梅町に行き始めた時には、迷ってしまうか心配していましたが、先日、北野白梅町に行、た時には、しっかりと自分の足で歩きました。よく歩けるようになり、大きくな、たと実感することができました。

たくさん身体を動かすことで、自然と身体の動かし方が身につけていきました。友だちの声掛けを受けて、できなかったジャンプに挑戦してできるようになったり、ちよと高いところに登ってみたり、保育者と一緒に追いかけっこをしたり、また、保育室では、机木に登れるようになる子どももいたり、きこちなく乗、ていたブランコに乗れるようになりました。

たくさん身体を動かしてあそんだ子どもたちの心は満足感で自然と笑顔があふれていました。本来、コロナがなければ、自然の多いところでのびのびとあそぶことができた、散歩だけでは経験できないことが経験できたはずですが、それを経験できなかったことが残念です。

この1歳から2歳になる時には、大きな成長を感じることもできる時です。ひとりでもできることも増え、言葉も話せるようになります。一語文から今では、月齢の大きい子どもだと、保育者との会話も成立します。そのため、散歩に出かけても、賑やかにになりました。たくさん言葉を知り、話そうとしますが、うまく話せなくて、それでも一生懸命伝えようとする姿が、可愛らしく、いやされました。そして、そんなことも話せるようになったの?と嬉しくもあり、大きくな、たと感じるひと時でした。

あと数日もすれば、2021年度は終わります。たんぽぽぐみの子どもたちと過ごせたことを嬉しく思います。

1年間、ありがとうございました!

みずぐみ

春を感じる暖かい季節となってきました。早いものでもう3月が終わりを迎えようとしており、4月にみずぐみになりたての時のことがふと頭をよぎります。

4月のころは友だちというよりは、並行あそびや自分の世界の中で楽しむことが多かった子どもたちです。大人との関わりの方が多かったこの時期ですが、それが徐々に友だちの方に向いていきました。友だちと同じことを言って楽しんだり、食事の席で一緒に座ろうなど誘うような声かけも出てきました。その中で、自分の思いが通らなかつたり、こんなことを言われたなど思いの違ひもたくさん経験していきました。しっかり言葉で伝えられるようになった分、友だち同士の言いあいも増え、お互いを刺激しあいながらもやりとりを楽しんでいました。

さて、3月も終わり、また4月から新しいスタートが始まります。先週に次のクラスに向けて、違うお部屋で過ごすことがありました。いつも遊んでいるおもちゃではなく、違うおもちゃで遊べると喜んでい、る子や幼児の扉付トイレに興味を持ち、何回もトイレに行く子、環境が変わったことで「なんで?」「早く(いつもの)部屋に戻りたい」とまだ戸惑いしている子どもなど様々な反応がありました。子どもたちと来年度はまた1つお兄さん、お姉さんになるね」と話していると、とても楽しみにしている雰囲気を感じました。今では自分で出来ることも増え、それが自分たちの自信に今後も繋がってほしいなと思、ました。最後になりましたが、至らぬ点ばかりであったと思いますが、1年間共に子どもたちの成長を見守り、そして支えてくださり、ありがとうございました。

